

大分県初の、ピアサポーター派遣事業

本事業は、令和4年度 独立行政法人福祉医療機構助成（WAM助成）のもと、がん患者の支援に必要とされているピアサポートを大分県内東部医療圏に充実させるためにピアサポート養成プログラム研修を開催し、ピアサポーターを養成致しました。

養成したピアサポーターを当法人のピアサポーターとして登録し、行政や医療機関、患者さんやご家族からの要請に応じピアコーディネーターがマネジメントを行い、ピアサポートを必要とするがんサロンの他、がん患者さんやご家族に迅速にお届けできるよう調整を行いました。

このようにピアサポーターに登録頂き、患者さんの特性に合わせて派遣する事は珍しい取り組みです。この活動を通して、がん患者やご家族のQOLの向上に寄与すると共に、医療関係者の皆様の支援を行って参ります。

NPO法人 マックネットシステム 理事長 武石 好春



不安を吐き出し、共感できる時間を届けたい。

ピアコーディネーターとして、相談者さんとピアサポーターを繋ぐ役目をしています。相談者さんとお話しをして感じることは、やはりがん患者さんの気持ちを一番理解することができるのは、がんを経験した方なのだということです。ピアサポーターとして登録していただいている方のほとんどが、がん経験者の方です。ご自身ががんになって経験したこと、乗り越えてきたことを、ピアサポートを通じて、寄り添い伝えることが役目だと、皆さん言うてくださいます。実際に活動後には、気持ちが楽になった、共感してもらえて嬉しかったとお声をいただいております。

多くの方にピアサポーターの存在を知っていただき、『共感してもらえる場所』『不安を吐き出せる場所』として利用していただければ幸いです。

がんサポートグループ CunaJuego ピアコーディネーター 高橋 恵

聴く、寄り添う。 ピアサポート養成プログラムの開催

別府医療センター がん相談支援センターの玉野相談員を講師に迎え、ピアサポーター養成プログラムを開催しました。ピアサポートの意義やがん対策基本法、そして最も大切な「聴くこと」についての基本的技術を、座学とロールプレイを通して学ぶ内容となっています。令和4年度に2度開催し、計27名のピアサポーターが誕生しました。このうち19名が本事業に登録し、活動を開始しています。

2022年6月27日 別府市北部コミュニティセンターあすなろ館 14名修了

2022年10月29日 別府市北部地区公民館 13名修了



受講生のサバイバー・ケアギバーの皆さん。
がんの治療歴も、職業や年齢もさまざまです。



聴く技術を体験するロールプレイの風景です。
改めて「ただ、じっくり耳を傾けること」の意味と
難しさを感じるワークとなりました。

おおいた がんのピアサポーター 活動報告

NPO法人マックネットシステム
がんサポートグループ
CunaJuego

ピアサポーターさんにインタビュー

ゆったり聴いて、サポートを還せたら。

がんの種類も、治療や生活の状況も、さまざまなバックグラウンドのピアサポーターが登録しています。登録ピアサポーターのお2人に、利用者さんとの出会いを通して感じたこと、大切にされている想いを伺いました。

初めは、初対面の方とお話しする難しさを感じていましたが、喋りすぎないように、ゆったりと接するよう意識しています。

まずは「聴く」ですよ。その方が何に困っているか聴く事から。話すことで気持ちが解け、1歩踏み出すきっかけになると、心から「ああ、よかったな…」と思います。

その人自身の力で踏み出せた事が嬉しいですよね。やっぱり、同じ経験をした仲間と話すって、大事ですよ。

そうですね。最初は私も泣いていたけど、ピアに支えられて今があるから、一瞬でも気持ちが解けるようお手伝いできたらと思います。

お2人とも、ありがとうございました。ご自身もピアサポートに支えられた経験から、少しでも心が和らぐように…。そんな、温かな想いが伝わってきました。これからも、よろしくお願いします。

ピアサポーター
あきさん

ピアサポーター
あけさん

お問い合わせは
こちら。

がんサポートグループ CunaJuego

NPO法人マックネットシステム

0977-75-6053

〒874-0025 大分県別府市大字亀川1140番地2

MAIL : cunajuego@mac-n.or.jp



www.mac-n.or.jp

THANK YOU

後援

大分県
別府市薬剤師会
国立病院機構別府医療センター

おいた がんのピアサポーター アンケート報告

実際にピアサポーター派遣を利用されたサバイバーさんや、医療・福祉関係者の方々の声をご紹介します。

どんな時にピアサポーター派遣を利用すればいいのかイメージが湧かない方もいらっしゃると思いますが、ご参考になれば幸いです。

がん患者さんと ご家族の皆様より

私の不安な気持ちを
汲みとって、ゆっくり
聞いてくれました。

他の方の工夫
が参考になった。

経験者のお話は、私の中に
スッと入ってきてありがた
かったです。自分もいつか
ピアサポーターになれたら。

集団で話すのが苦手。
個別に相談できて、
良かったです。

いちばん不安な告知後、
入院中にも会えたら
嬉しいです。

手術を経験した人でないと
分からない事を話していただき、
勇気が出ました。
まだまだ頑張れると思えました。
ありがとうございました。

仕事復帰の準備について
聞きました。無理をせず、
焦らず体を大切にしてい
こうと思いました。

じっくり
話を聞いてくれて、
それだけで気持ちが
楽になりました。

医療・福祉の 専門職の皆様より

患者さんの特性に
合わせた方を
紹介して下さいました。

明らかなで温かい
雰囲気のパサポーター
さんが来てくださったので、
安心しました。

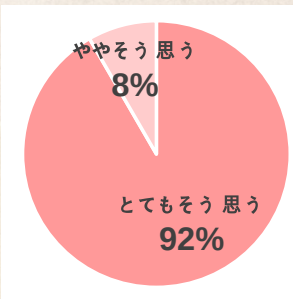
病院の大塚の職場復帰を前に
「私
気取った感じがなくなる。」「私
を見る目がかわる。」「心も
楽になった。」「嬉しい。」「

例え同じような情報を
聞いたとしても、医療者
から聞くのと経験者から
聞くのでは、受け止め
方が全く違うと感じます。

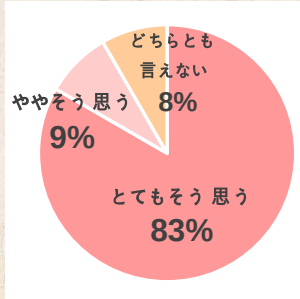
自分に取り入れられない体の変化
で見ている私達にとっても辛いは、
その辛さを少しでも下せる場所
があることで、医療職も救われる
気持ちになります。

私だけじゃなかった
と、パッと表情が
明るくなりました。

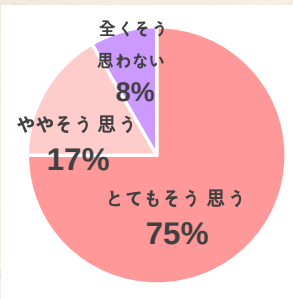
1 ピアサポーターの態度は
貴方に寄り添うものでしたか？



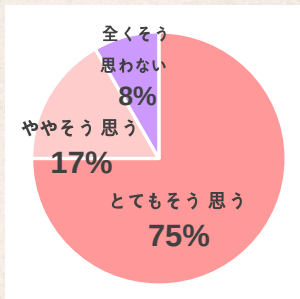
2 経験者ならではの
経験談を聞けましたか？



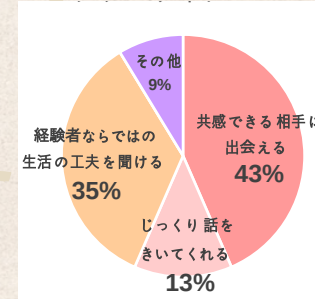
3 気持ちの辛さや不安
が和らぎましたか？



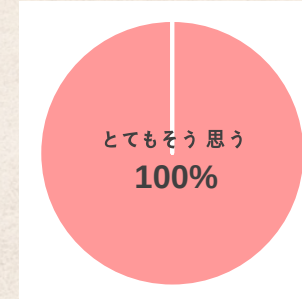
4 機会があれば、また
利用したいと思いますか？



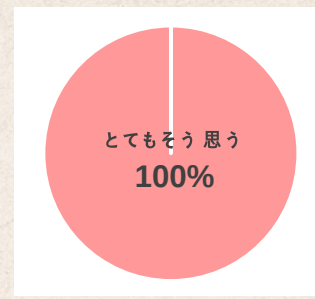
1 ピアサポーター派遣を
依頼した理由は？



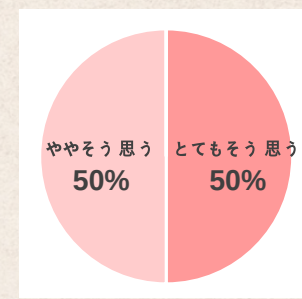
2 ピアコーディネーターは
必要だと思いますか？



3 ピアコーディネーターの
対応は安心できましたか？



4 利用者の気持ちの辛さや
不安が和らいだと思えますか？



ピアサポーター派遣を利用した方の多くは、ピアサポーターによる寄り添いを感じておられました。

9割強の利用者が、がん経験者ならではの話を聞くことができたと回答しています。

不安の軽減について、概ね効果があったとの回答が得られました。

③④「全くそう思わない」理由：
「もう大丈夫なので」
「悩み事が無くなっては
いないから」

医療・福祉関係者の方からは、共感しあえる関係性や、経験者ならではの視点が求められていました。

ピアサポーターとの橋渡し役である、ピアコーディネーターの存在は重視されていました。

利用者の不安の軽減について、概ね効果があったとの回答が得られました。